

2006年5月の東北地方の天候

【5月の特徴】 ・東北南部の寡照

(1) 2006年5月の概況

高気圧と低気圧が周期的に通過したが、日本の南の太平洋高気圧が平年に比べて強く、前線が平年よりも北上して本州南岸付近に停滞することが多かったため、東北南部を中心には寡照となった。また、上旬は高気圧が北に偏ったため、東北太平洋側では冷たく湿った東よりの風の影響を受けた。白河では月間日照時間の少ない値の1位を更新した。

月平均気温は東北北部で平年並、東北南部で平年より高い。月降水量は東北北部で平年並、東北南部で少ない。月間日照時間は東北北部で少なく、東北南部でかなり少ない。

(2) 各旬の天候経過

上旬：高気圧に覆われ東北日本海側では晴れの日が多かったが、高気圧は北に偏る時期があり、東北太平洋側では、冷たく湿った東よりの風の影響を受けたため、南部を中心に曇りの日が多かった。

平均気温は東北日本海側で高く、東北太平洋側で低い。降水量は東北北部でかなり少なく、東北南部で少ない。日照時間は東北北部で平年並、東北南部で少ない。

中旬：東北北部は高気圧に覆われ晴れの日が多かったが、東北南部は本州の南岸に停滞した前線の影響により天気がぐずついた。19日は台風第1号から変わった低気圧が日本海を東進したため、東北北部を中心に大雨となった。

平均気温は東北北部で高く、東北南部で平年並。降水量は東北北部で多く、東北南部で平年並、日照時間は東北北部で平年並、東北南部で少ない。

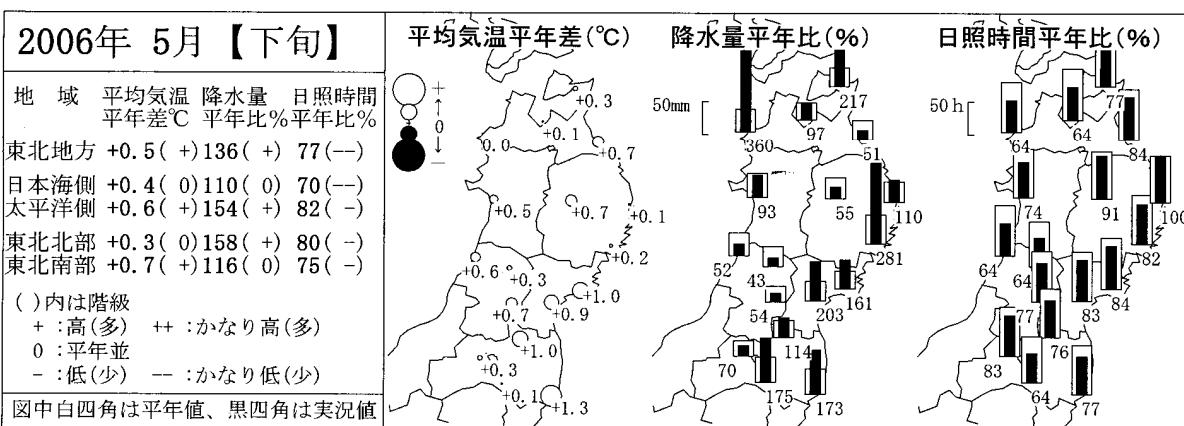
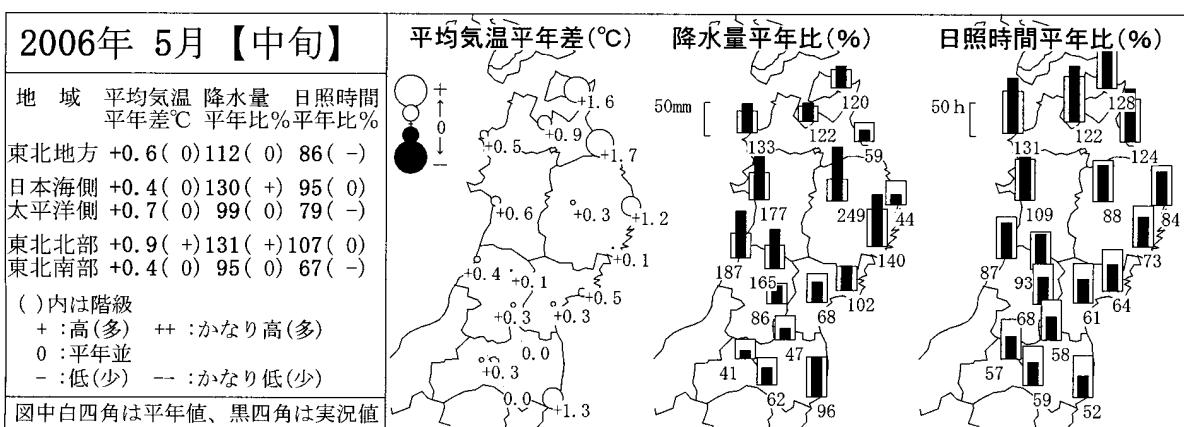
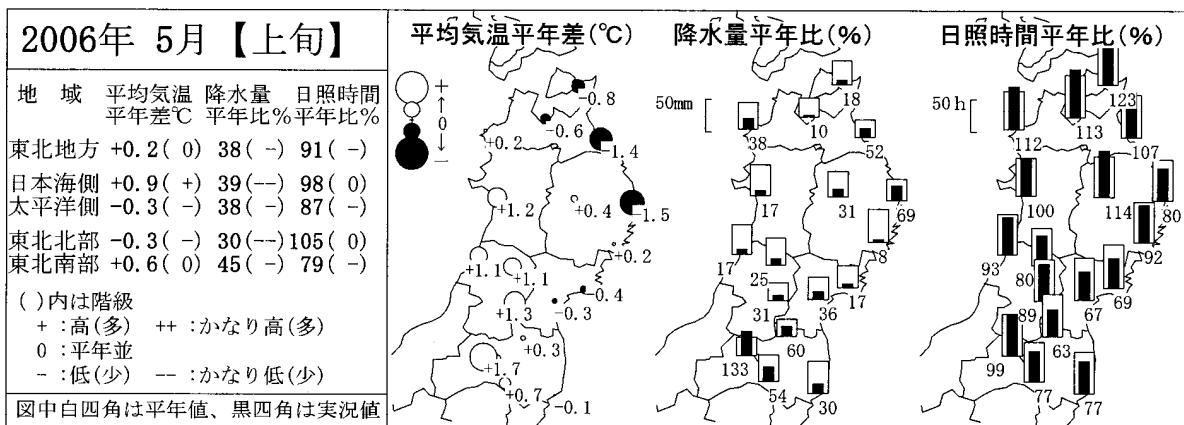
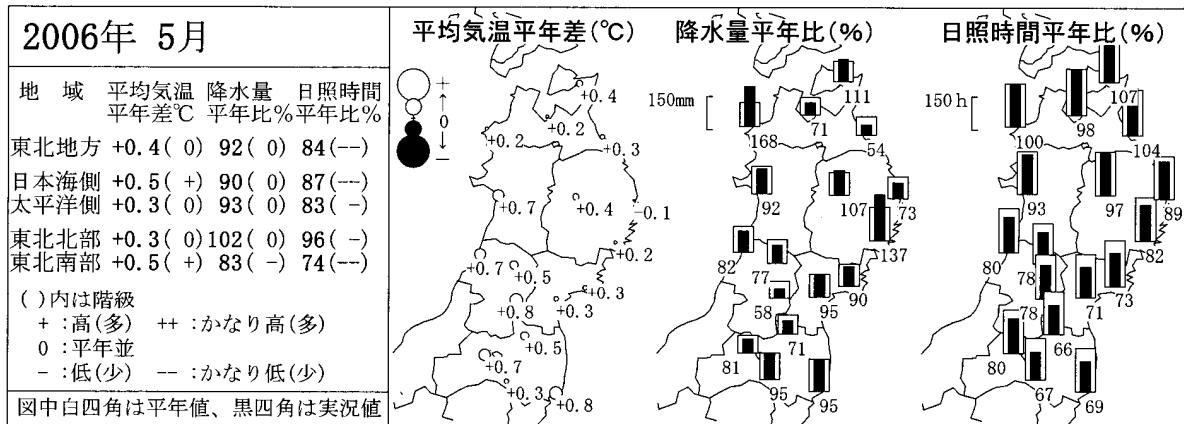
下旬：期間の前半は高気圧と低気圧が周期的に通過したが、期間の後半は、上空に寒気を伴った動きの遅い低気圧が日本海に停滞し、東北日本海側を中心に天気がぐずついた。

平均気温は東北北部で平年並、東北南部で高い。降水量は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で多い。日照時間は東北日本海側でかなり少なく、東北太平洋側で少ない。

注) 気候統計値は、東北地方にある17地点の気象台、測候所、特別地域気象観測所の観測値より求めています。
細分地域については3ページ目脚注1を参照して下さい。

平年値の統計期間は1971-2000年です。階級区分については、3ページ目脚注2を参照して下さい。

(3) 2006年5月の期間・旬平均(合計)値の平年差(比)



(4) 2006年5月の月気候表

地 点	月平均気温(平年差)			月降水量(平年比)			月間日照時間(平年比)		
	°C	°C	階級	mm	%	階級	h	%	階級
青森	13.3	(+0.2)	○	56.0	(71)	○	206.8	(98)	○
深浦	13.2	(+0.2)	○	182.5	(168)	+	196.6	(100)	○
むつ	12.5	(+0.4)	○	102.0	(111)	○	223.0	(107)	○
八戸	13.4	(+0.3)	○	46.0	(54)	—	215.9	(104)	○
盛岡	14.2	(+0.4)	○	111.0	(107)	+	189.3	(97)	○
大船渡	13.8	(+0.2)	○	205.5	(137)	+	161.5	(82)	—
宮古	13.0	(-0.1)	○	71.5	(73)	○	169.8	(89)	—
仙台	15.2	(+0.3)	○	102.0	(95)	○	141.4	(71)	—*
石巻	14.3	(+0.3)	○	88.0	(90)	○	151.4	(73)	—*
秋田	14.9	(+0.7)	+	112.5	(92)	○	177.7	(93)	—
山形	16.2	(+0.8)	+	47.5	(58)	—	156.7	(78)	—*
新庄	14.7	(+0.5)	○	81.5	(76)	—	141.1	(78)	—*
酒田	15.6	(+0.7)	+	96.0	(82)	○	159.1	(80)	—*
福島	17.0	(+0.5)	○	62.0	(71)	—	131.7	(66)	—*
若松	16.2	(+0.7)	+	65.0	(81)	—	158.4	(80)	—*
白河	15.1	(+0.3)	○	114.5	(95)	○	125.4	(67)	—*
小名浜	15.9	(+0.8)	+	139.0	(95)	○	137.7	(69)	—*

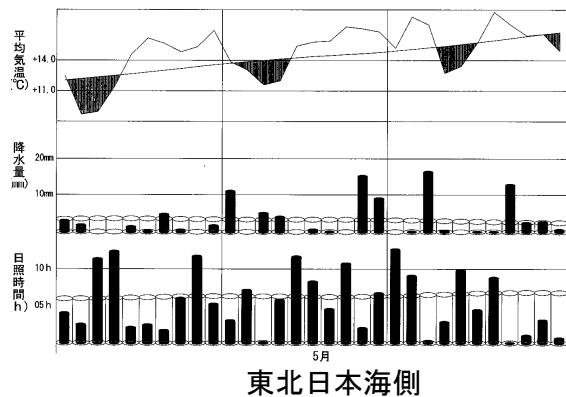
・「階級」の記号の意味は以下のとおり

+:高い(多い) ○:平年並 −:低い(少ない) * は「かなり」を表す

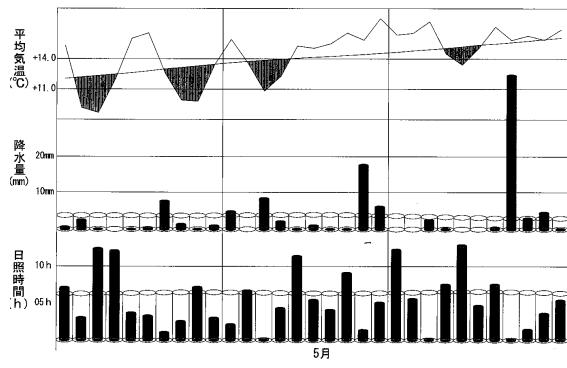
・「降雪の深さ」と「最深積雪」の「階級」は平年値が「1cm」以上の場合のみ表示した。

・値の横に) や] がある場合には、月別値を求める際に使用したデータ(日別値)に欠測等が含まれていることを示す。)付きの値(準完全値)は通常のものと同様に扱うことができるが]付きの値(資料不足値)については、値の下に記載した統計日数(統計に用いた、品質が十分な日別値の数)を参考にして、品質を確かめてから使用されたい。なお、日別値がすべて欠測のため値が求められない場合は「×」とした。

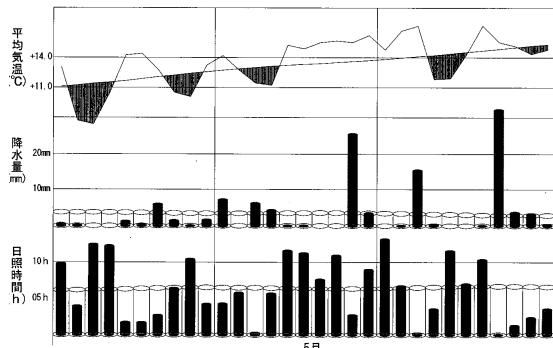
(5) 2006年5月の日別経過図



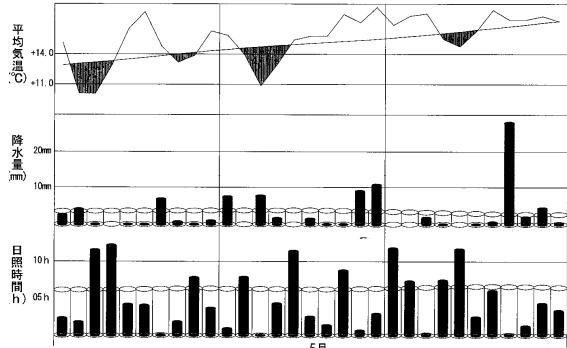
東北日本海側



東北太平洋側



東北北部



東北南部

気象官署の日別観測値と日別平年値の地域平均(気温:実線と点線、降水量・日照時間:黒い円柱と白抜き円柱)

注 1) 細分地域

東北日本海側：青森県津軽、秋田県、山形県、福島県会津

東北太平洋側：青森県下北・三八上北、岩手県、宮城県、福島県中通り・浜通り

東北北部：青森県、秋田県、岩手県

東北南部：宮城県、山形県、福島県

注 2) 階級は「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3階級とし、それぞれの階級幅は、1971～2000年の30年間において出現した値を等確率(33.3%)に区分しています。また、低い(少ない)方または高い(多い)方から出現率10%の範囲を、それぞれ「かなり低い(少ない)」、「かなり高い(多い)」と表し、補足的に用います。本資料の本文にある階級の表現も、「かなり低い(少ない)」、「かなり高い(多い)」に該当する場合はそのように記述し、細分地域により階級表現が異なる場合は地域を細分して記述しています。

(6) 2006年5月の極値・順位の更新

(月平均気温、月降水量、月間日照時間の大きい方からの3位まで。)

月間日照時間少ない方からの順位更新

順位	地点名	日照時間 h	平年比 %	これまでの最小 h (西暦年)	開始年	平年値 h
1	白河	125.4	67	126.0 (1963)	1940	188.4
2	新庄	141.1	78	132.6 (2004)	1958	180.1
3	酒田	159.1	80	147.3 (1955)	1937	198.7
	福島	131.7	66	100.1 (1920)	1901	198.1
	小名浜	137.7	69	130.3 (1945)	1910	198.4

(注) 平年値とは1971～2000年の30年間の値を平均したものである。

(7) 5月の東北南部を中心とした寡照の要因

5月の大気の流れを見ると、太平洋高気圧が平年より北の日本の南東海上に張り出し、前線帯を平年より北上させ、日本の南岸から本州付近に前線の停滞することが多くなった。このため、東北南部では前線や低気圧の影響を受けやすく、曇りや雨の日が多くなった。

太平洋高気圧が日本の南東海上に張り出した要因としては、西部太平洋熱帯域で対流活動が活発であったことで高気圧が平年より北で強まつたこと、上空の大気の流れが、日本の南東海上で高気圧を強めるように蛇行したことが考えられる。下図は曇りや雨の日が続いた5月中旬の様子を模式的に表したものである。

